

汽車通学)三年生のとき、同級生だった桂子(現在の妻)と出会いました。私が弘前大学で医学を学んでいた六年間、毎週、文通。妻が保管している手紙はダンボール一箱になりました。藤井 先生が保管されているのも数えると二箱。ラブラブですね(笑)。

中村 六〇年安保闘争など熱い政治問題も書いていますよ(笑)。出会ったときに妻にするならこの人と思つて、それから五十年間一緒です。



大日如来(国宝白杵石仏・大分県白杵市)。仏像が好きで撮影も趣味の一つ。息子夫婦が医師で当院を支えてくれるので、学会のついでに小旅行を楽しんでいる。『今年のお盆には長州に足を踏み入れました。会津の血を引くものとして、身が引き締まります』

藤井 ご馳走さま(笑)。登山も共通のご趣味？中村 妻の方がベテランで、キリマンジャロにも登つてます。登山の最中は妻の方が沈着冷静で度胸がある(笑)。

認知症の母を家内が介護するようになって、私は単独行になりました。先週、富良野岳を朝の三時に登り始め、ご来光を見ながら頂上から妻に実況中継しました。しばらく二人で登つていません。



夕張岳からの眺望(平成19年7月、朝5時)。右手が芦別岳。暗い斜面を登っていくと、やがて空が薄紫に染まり、突然山肌が金色に輝く。ご来光を目撃することが山登りの素晴らしさのひとつです

## ●一日二食になる時代が来ますよ。北海道の農業に希望を与えたい

藤井 三十八歳でご開業なさつたのですね。中村 昭和四十年に北大医学部でインターン。四十一年耳鼻咽喉科入局、医師としてスタート。ところが四十三年に急性肝炎で北大二内に入院。私は無給医局員で、生活は極めて苦しく、北大耳鼻咽喉科の先生方の援助で家族を守つていただきました。この恩義は終生忘れられませぬ。

五十二年、佐々木耳鼻咽喉科(岩見沢市)の後継者として開業。開業後十数年間は南空知を一人で担当。電話のベルが鳴らぬ夜はありませんでした。

患者さんの中には農家が多いのですが、農業の将来に希望をもつ人が少ない。また、患者である子供達に『今日は何食べた?』と聞いても、即答できない。食への関心がなくなっている。

藤井 女性センターで摂食障害への支援をしています。管理栄養士が携帯電話で食事内容を毎日チェックしています。食べることを大事にする通学するきっかけにもなります。

中村 医師として人の健康を守るためには、医療政策と同様に食というか農業政策にも敏感でありたいと考えています。

## インタビューを終えて

無鉄砲で純情で。楽しいお話しを  
ありがとうございました。

## 常任理事

## 藤井美穂

理事会ではキリリとした表情で、超真面目な方と思つておりましたが、飛ばし屋ですと告白。ヘルメットをかぶつて、カービングスキーを楽しむ。車好きで一日五百キロ走つても物足りなかつた。スピード違反免許は数え切れない(看護学校長就任を機に中年暴走族卒業。次々と危険発言(?)。直筆の経歴書の一文に感激しました。『十八歳の高校生のクラスメートから私の妻となりこれまで支えてくれた妻、桂子に大いなる愛を込めて感謝の意を表したい』。

●結核で闘病していた父を見守り、  
医師の道を選択

藤井 インタビュー前に、中村先生の経歴書を拝見しました。克明な記録とドラマのような内容に感動しました。

中村 以前、岩見沢市医師会の先輩が亡くなった際に、その先生の履歴を調べるのに苦労した経験がありました。自分が万が一の場合には、そんな苦労はかけたくないと思い、平成十七年に詳しい経歴を自分で纏めました。幸いにも父母が克明な私の成長記録を書いて残してくれたので、幼少期や就学期の参考にしました。経歴



生年月日 昭和15年8月18日  
出身地 網走郡網走町呼人  
出身大学 弘前大学医学部  
昭和40年卒 耳鼻咽喉科  
好きな言葉 誠実

書は仏壇に隠しておいたのです。

藤井 お仏壇の中に？

中村 遺影用の右・左向きそれぞれの顔写真と一緒にね。

藤井 !?

中村 今回インタビューを受けるといっているので、資料として事務局に送りました。

藤井 ドラマのような経歴書の中からいくつ

か、お伺いします。

お父様が入院されていた病室のベッドの下で、さまざまなご体験をされたのですね。

中村 肺結核の父は洞爺湖教員保養所で手術を受けました。私が小学四年生の時です。洞爺小学校に一時転入しながら、父の

ベッドの下から通学しました。病室の患者さんも皆教師ですから、勉強を教わりましたよ。算数、絵の書き方、天体の星の話…。

人の死にも直面しました。手術

後に病室に戻らない先生がいる。

保養所の裏玄関から棺が出ていく

のを見て、悲しい思いを何度もし

ました。

藤井 結核患者さんの中で暮らして

いても病気になるはず、先生は健

康でいらしたんですね。

中村 発病しませんでした、濃



平成4年9月15日、岩見沢神社秋祭り 平和町神輿に初参加。岩見沢市民の一人として認められたことが嬉しい。最年長の担ぎ手として現役で頑張りたい

厚感染してしましてね。両胸に病巣がありました。藤井 興治少年がドクターになったことを喜んだ『先生』も多かったでしょうね。

●ダンボール一箱のラブレター  
山好き同志

藤井 奥様との五十年にわたるラブストーリーをお聞かせください(笑)。

中村 昭和三十三年、北見北斗高校(美幌から